

2021 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2022 年度分)

| | | | |
|---|---|--|--|
| <p>団体名</p> | <p>社会福祉法人 育伸会 わんわん保育園</p> | | |
|  |  | | |
|  |  | | |
| <p>JR 西日本あんしん社会財団様より、訓練用 AED 2 台・訓練用人形 2 体を助成していただいております社会福祉法人育伸会わんわん保育園でございます。</p> <p>当園は午前 7 時～午後 8 時半と開園時間が長く、園児は 118 名在籍しております。なかには、アレルギーや呼吸器疾患などの持病がある園児や職員も在籍しています。また、園の前には児童公園や公共グラウンド、近隣には高齢者も多く住まれており、緊急時には在籍園児だけでなく地域住民の方々の救命処置にも活動していきたいと思ひ 2021 年より助成していただき活動しております。しかし未曾有の災禍の中で、開催予定はことごとく中止となる事態に見舞われました。その中で、当園職員の救命処置手技獲得を向上させようと考え、出来る限りの講習・演習を定期的に行いました。記憶に残る講習内容を意識したカリキュラムとして『SIDS の危険性と予防・観察方法』『プール活動にむけての安全講習』『DVD で再確認する救命活動』『ASUKA モデルで学ぶ保護者対応方法と救命活動・連携について』をテーマとしました。救命訓練を何度も何度も反復練習することで自己手技獲得に努めました。『何度やっても緊張するが子どもを助きたい』『何か役にたちたい』『子どもを保育する仕事だから自分ができる事はしたい』等の反応があり、保育者の責任感の強さ、行動力の高さを武器に救命処置訓練を継続的に実施する価値は大いにあると感じることが出来ました。</p> <p>2023 年 3 月よりマスク着用判断の自由化、5 月には新型コロナの 5 類感染症への移行など制限の緩和の兆しが見えてきました。2023 年度は、地域住民の方への講習が出来るように対策を講じながら実施予定しております。</p> <p>JR 西日本あんしん社会財団様には、多大なるご支援をいただいております。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。</p> | | | |